

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

お子さんが読んでいる本を知っていますか？

子どもの読書活動を支える機関として「学校図書館」「公共図書館」があります。学校図書館では朝読書やボランティアによる読み聞かせなどを通じて読書の楽しさを知ってもらい、公共図書館では読書の楽しさを通じて豊かな人生を送ることができるよう支援しています。

学校図書室にお邪魔した際、先を争うように本を借りたり、友だち同士で本の情報交換会をしたりしている場面に遭遇すると、子どもの生活の一部として図書室が存在しているのだなと安心します。学校での読書活動や宿題のために本を読む子もいるかもしれませんが、一日のうち何分かで本を開く習慣ができているということは、先生方のご協力あってのことだと思います。厚真町公民館図書室でも学校図書室には無い本や調べ物ができるような資料をそろえて、子どもたちの読書活動に答えられるよう選書や環境づくりに取り組んでいます。

時間がある時、お子さんにどんな本を読んでいるのかをたずねてみてください。冒険、怖い話、科学読み物いろいろあると思います。お子さんが興味あること、将来なりたい職業などがわかるかもしれません。もしかしたら悩みの解決方法が知りたくて本を読んでいるのかもしれません。一か月後、一年後と、お子さんが選んだ本を知ることで、内面の成長を感じ取れるのではないかと思います。

最後に、最近の本は表紙がアニメイラスト風でも内容は意外に真面目ということもありますので、表紙だけではその本がどんな本なのか判断できないということをお伝えしておきます。



厚真町メディア教育講演会のお知らせ

「スマホ社会とメディア依存への対応」

ケータイ・スマホの普及が子どもたちにも爆発的に広がっています。子どもの成長にとっての電子メディアの影響について理解を深め、子どもたちがメディア依存にならないために、大人や保護者がどのような対応をしていけばよいか一緒に考えてみませんか。

講師の古野氏は、3児の父親であり、IT技術者として長年のキャリアをお持ちです。ビデオ漬けになっていた第1子がノーメディアの取り組みで劇的に改善したことから、子どもとメディアの問題に取り組み始めました。IT技術者、ゲーム製作者の経験も生かして、スマホ、インターネット、ゲーム等が子どもに与える影響について、講演会、ワークショップで広く啓発しています。

- 日時：平成29年10月25日（水）18時～19時
- 会場：厚真町総合福祉センター 2階 青年室
- 講師：古野 陽一氏（NPO法人 子どもとメディア専務理事）
- 対象 こども園・小・中・高の保護者、保育士、教員、PTA関係者、子育て・教育に関心のある方ならどなたでも
- 主催 厚真町教育委員会
- お問い合わせ先 厚真町教育委員会 社会教育グループ
☎27-2495